

文部科学省認可 通信教育

学習のてびき 2017

～博物館学芸員～

生涯学習学部 生涯学習学科

八洲学園大学

Yashima Gakuen University

はじめに 本誌の使い方

この「学習のてびき」は、学生支援センターが、日々のサポートの視点から学生生活に関する基本的なことがらをまとめたものです。

入学前の方は八洲学園大学を知る資料として、学生の方は学習計画を立てる時や困った時の参考資料として、ご活用ください。

学生支援センター

【その他の情報発信】

八洲学園大学ホームページ <http://www.yashima.ac.jp/univ/>

やしま学園大学



公式 Twitter アカウント @yashima_univ



facebook ページ <http://www.facebook.com/yashimagakuenuniv>

【お問合せ先】

八洲学園大学 学生支援センター（平日 9:00-21:30/土日祝 9:00-17:00）

メール u-info@yashima.ac.jp

電話 045-410-0515

住所 〒220-0021 横浜市西区桜木町 7-42（2階総合カウンター）

※受付時間は時期により変更する場合があります。

さくっと紹介 八洲学園大学とは

▽学び方に注目

スクーリングも
試験もすべて
インターネット
で受けられる
p.12

通信制だからこそ
つく「力」がある
p.13

安心の
単位従量制授業料、
学費の負担を
抑えて学べる
p.20

▽科目に注目

学芸員科目以外も
好きな科目を
1科目から履修
p.22

最短1年間で
学芸員資格取得
(学歴要件あり)
p.5

図書館司書など
関連する国家資格
も取得できる
p.23

▽サポート体制に注目

学生支援センターは
平日夜・土日祝日
も対応
p.17

先生への質問も
インターネットで
24時間送信
できる
p.17

通信制大学では
めずらしい
就・転職支援
を実施
p.19

目次

はじめに 本誌の使い方	2
さくっと紹介 八洲学園大学とは	3
目次	4
1 博物館学芸員について	5
(1) 博物館学芸員とは (2) 資格の取得方法 (3) 最終学歴と入学区分 (4) 資格取得者の状況	
2 学習スケジュール	7
(1) 入学から資格取得まで (2) 期と学期 (3) 学事予定表 (4) 卒業要件 (学歴要件を満たしていない方)	
3 博物館学芸員資格科目	10
(1) 博物館学芸員資格科目一覧 (2) 科目紹介	
4 学習方法	12
(1) 学習システム「eLy」 (2) 教科書・教材 (3) シラバス (4) テキスト履修 (5) スクーリング履修	
5 サポート体制	17
(1) 先生への質問 (2) 学生支援センター (3) キャリアコーディネート室	
6 学費	20
(1) 学費のしくみ (単位従量制授業料) (2) 納入方法 (3) 資格取得までの学費例 (4) 各種サービス	
7 さらに学びたい方へ	22
(1) 資格取得だけで終わらないために (2) 国家資格 (3) その他の資格 (4) 科目シリーズ	
8 附属図書館	30
(1) 館内の利用案内 (2) 貸出サービス (3) その他サービス	
9 諸手続き	31
(1) 証明書発行 (2) 学籍に関する手続き (3) 身上に関する手続き	
参考資料 スクーリング受講のためのパソコン設定方法	

2017 年度春期学事予定表 / 2017 年度秋期学事予定表

1 博物館学芸員について

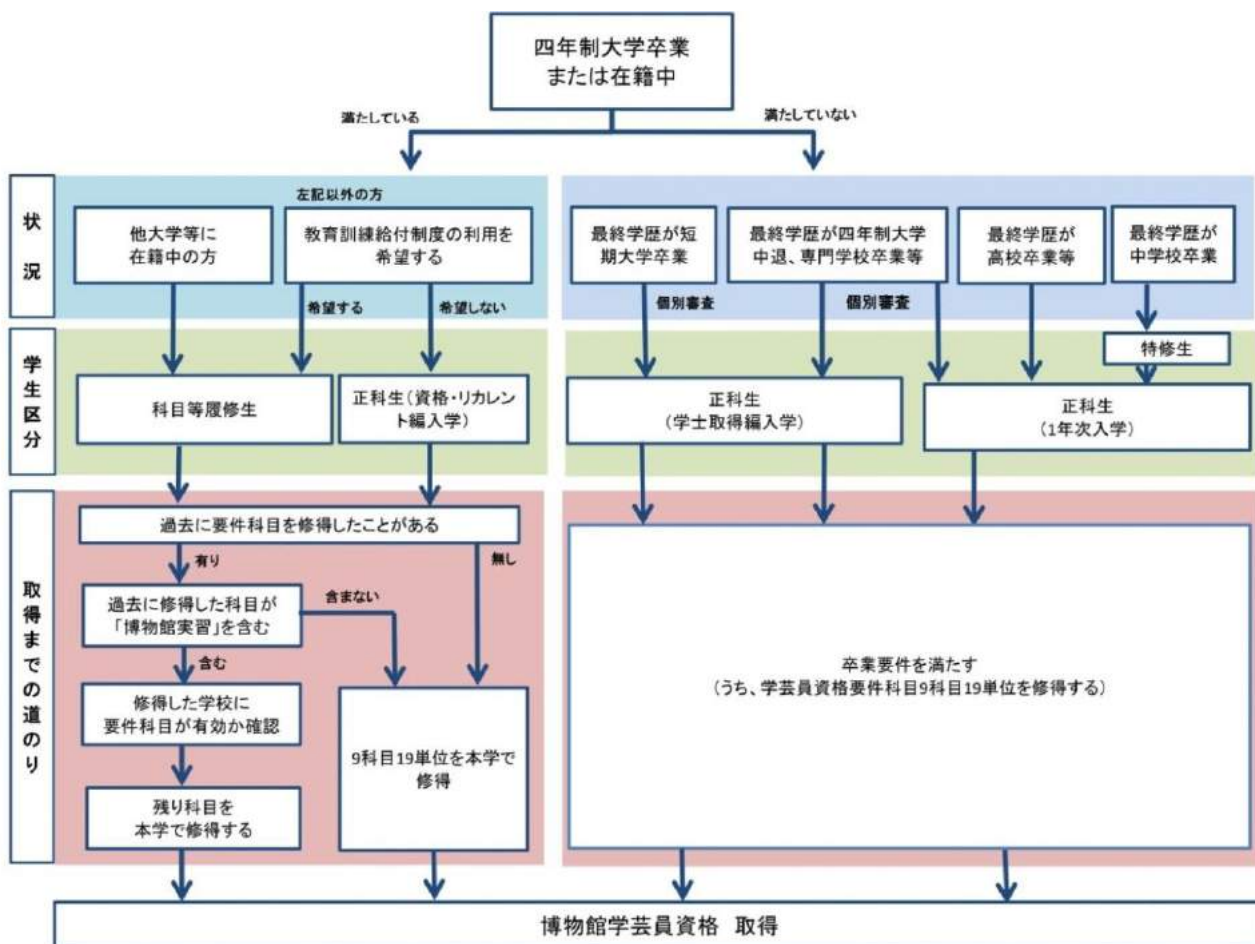
(1) 博物館学芸員とは

博物館学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行う「博物館法」に定められた、博物館におかれる専門的職員です。(文部科学省サイトより抜粋)

(2) 資格の取得方法

学芸員資格の取得方法はいくつかありますが、本学は「学士の学位を有し、大学で博物館に関する科目の単位を修得する」という方法に該当します。

(3) 最終学歴と入学区分



最終学歴	入学区分（学生区分）	資格取得までの最短期間
大学院修了（※1）	正科生（資格・リカレント編入学）／科目等履修生	1年間（※2）
大学卒業（大学院在籍中を含む）（※1）		
大学在学中	科目等履修生	1年間（※3）
大学中退	正科生（学士取得編入学）	1～3年間（※4）
短期大学卒業	正科生（学士取得編入学）	1～2年間（※4）
専門学校卒業（※4）	正科生（学士取得編入学）	1～2年間（※4）
高等専門学校卒業	正科生（学士取得編入学）	2年間
高校卒業	正科生（1年次入学）	4年間
中学校卒業	特修生	4年半
その他	入学支援相談センターまでお問い合わせください	

※1 日本国内の大学・大学院に限られます。海外の大学・大学院は該当いたしません。

※2 学習開始時期は4月もしくは10月となります。

※3 在学中の大学を卒業する必要があります。

※4 編入学の要件に関する詳細は募集要項をご覧ください。

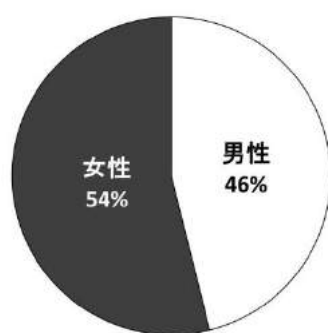
(4) 資格取得者の状況

▼本学における学芸員資格取得者数

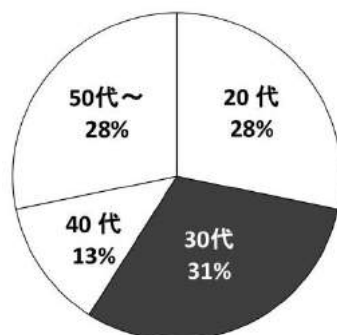
年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	計
人数	25	49	60	70	60	78	63	61	45	59	570

※「博物館実習」の単位修得者数

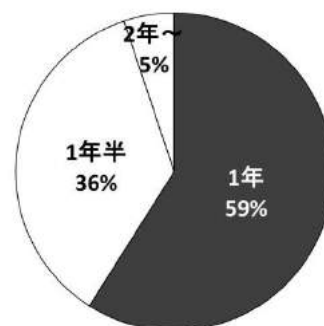
▼資格取得者データ



男女比



年齢層



資格取得にかかった期間

2 学習スケジュール

(1) 入学から資格取得まで

ここが
ポイント！

1年コース、1年半などのコース制ではありません。自分のペースで、博物館学芸員以外の科目も自由に組み合わせて学習できます。

入学 4月・10月

学習（通学不要）

学習システム「eLy」を使い自宅学習（実習以外）

- ・テキスト履修 p.18 へ
- ・スクーリング履修 p.20 へ



実習以外の単位を修得

16単位（うちスクーリング2単位）



実習の単位を修得



資格取得

資格取得試験はありません

学習終了 3月・9月

さらに学びたい方は・・・そのまま在籍し好きな科目を履修

(2) 期と学期

ここが
ポイント！

本学では4学期制を採用しておりますが、司書教諭科目はすべて春期もしくは秋期の半年コースです。

春期		秋期	
第1学期	第2学期	第3学期	第4学期
4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月

(3) 学事予定表

春期・秋期の半年ごとに「学事予定表」が配信されます。「学事予定表」には、履修登録から成績発表までの半年間の予定が掲載されています。「学事予定表」に基づいて学習計画を立てます。(巻末の参考資料をご覧ください。)

(4) 卒業要件 (学歴要件を満たしていない方)

ここが
ポイント！

大学卒業という学歴要件を満たしていない方は、正科生として入学し卒業と同時に学芸員資格取得となります。最終学歴により編入学も可能です。

※編入学の出願資格は募集要項をご覧ください。

▼卒業要件

学生区分	卒業までの期間	在学できる期間	卒業に必要な単位数
1年次入学	4年間	12年間	基礎科目 30単位 専門科目 64単位 自由選択科目 30単位 計 124単位 (うちスクーリング 30単位以上)
2年次相当編入学	3年間	9年間	正科生 (1年次入学) の卒業要件単位数から、 認定単位数を減じた単位数
3年次相当編入学	2年間	6年間	
4年次相当編入学	1年間	3年間	

▼編入学時の最大認定単位数

学生区分	最大認定単位数	本学の修得すべき単位数
2年次相当編入学	基礎科目 20 単位 専門科目 10 単位	124 - 60 = <u>64 単位</u> (うちスクーリング 18 単位以上)
3年次相当編入学	自由選択科目 30 単位 計 60 単位 (うちスクーリング最大 12 単位)	
4年次相当編入学	基礎科目 20 単位 専門科目 40 単位 自由選択科目 30 単位 90 単位 (うちスクーリング最大 18 単位)	124 - 90 = <u>34 単位</u> (うちスクーリング 12 単位以上)

※編入学年次・認定単位数は、出願書類（卒業証明書、成績証明書）による個別審査にて決定します。

▼特修生の要件

最短期間	在学できる期間	特修生として修得すべき単位数
半年間	3年間	特修生規程に定める科目から <u>8 科目 16 単位</u>

※特修生として修得すべき単位数を修得した方は、次学期に正科生（1年次入学）となります。

▼学位

本学を卒業すると「学士（学術）」の学位を取得できます。

3 博物館学芸員資格科目

(1) 博物館学芸員資格科目一覧

全9科目19単位です。いずれも4～9月または10～3月の半年間で履修します。

本学における科目名	単 位	履修 形態	履修開始 時期	履修 方法	博物館法施行規則で 定める科目名
生涯学習論1(生涯における学習設計)	2	T	4月・10月	必修	生涯学習概論
博物館概論	2	T	4月・10月	必修	博物館概論
博物館経営論	2	S	4月・10月	必修	博物館経営論
博物館情報・メディア論	2	T	4月・10月	必修	博物館情報・メディア論
博物館資料論	2	T	4月・10月	必修	博物館資料論
博物館資料保存論	2	T	4月・10月	必修	博物館資料保存論
博物館展示論	2	T	4月・10月	必修	博物館展示論
博物館教育論	2	T	4月・10月	必修	博物館教育論
博物館実習	3	RS	4月・10月	必修	博物館実習

T:テキスト履修/S:スクーリング履修/RS:レポートスクーリング(S3単位)

(2) 科目紹介

ここが
ポイント!

まず「博物館実習」以外の8科目を履修します。実習を履修するには、実習以外の16単位をすべて本学で修得する必要がある。例えば春期に実習以外の単位を修得した方は、10月1日以降に実習を行います。実習以外は1科目から履修できますが、実習のみの履修はできません。

科目名	科目の概要
生涯学習論1 (生涯における学習設計)	生涯学習の意義、生涯学習と家庭教育・学校教育・社会教育との関係、生涯学習振興行政、社会教育の意義や内容・方法・形態・指導者などを概観する。【担当：浅井経子】
博物館概論	博物館と博物館学の歴史と現状を学んで、博物館の諸活動の意義を理解する。【担当：秋吉正博】
博物館経営論	博物館概論を踏まえて博物館の諸活動への理解をさらに深める。【担当：秋吉

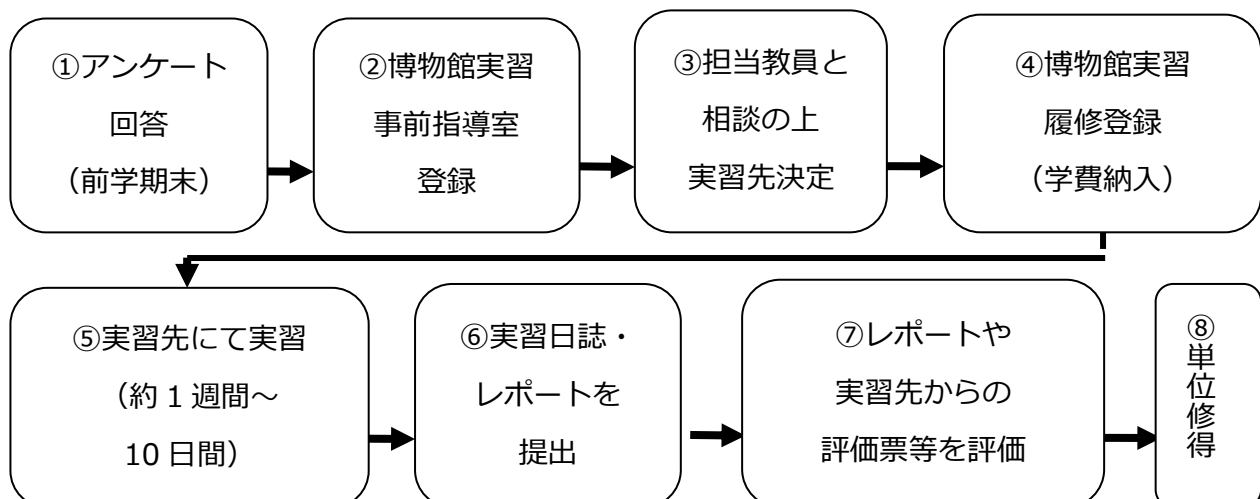
	正博】
博物館情報・メディア論	博物館における情報・メディア活用の意義と方法及び情報発信の課題等について理解し、基礎的能力を養うとともに実践力を身につける。【担当：庄中雅子】
博物館資料論	博物館資料の収集・整理・保管等についての理論や方法に関する知識・技術を習得することを目指す。【担当：佐々木倫朗】
博物館資料保存論	博物館における資料保存の基本について学習する。【担当：松田隆嗣】
博物館展示論	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等についての理論及び方法に関する技術・知識を習得する。【担当：秋吉正博】
博物館教育論	教育機関としての博物館における教育活動の基盤となる理論や知識を習得する。【担当：新井孝喜】

(3) 科目紹介（博物館実習）

ここが
ポイント！

実習以外の8科目16単位修得後、実習先が決まるまでは、「博物館実習事前指導室」で担当教員と相談できます。実習先の情報は学生自身で収集しますが、相談は随時可能です。

実習の流れは実習先により異なりますがおおよそ下記の流れとなります。【担当：秋吉正博】



まずはご自身で居住地や興味・関心などの条件にあった施設を探してください。そして担当教員と相談の上、実習時期や申込条件を各自で調査し、条件が合う施設を一つ選びます。大学から正式に依頼し、施設から承諾を得ると実習が可能となります。実習時期・期間は施設によりますが、おおよその傾向として、夏（7～8月頃）に実習期間を設け、前年度末～年度初めの時期に募集する施設が多く、10～3月に実習を実施している施設は少ないようです。

4 学習方法

(1) 学習システム「eLy」

ここが
ポイント！

スクーリングも試験もすべて学習システム「eLy」
(e-Learning system of Yashima の略、エリーと読みます)
を使います。一度も通学せず卒業や資格取得ができます。

▼eLy ログイン画面

<http://portal.study.jp/ygu/>

(「お気に入り」登録をおすすめします。)

▼eLy を使えるパソコン環境

Windows OS のパソコンをご用意

ください。また、ブラウザは Internet Explorer に限られます。Mac OS、スマートフォン、タブレットには対応していません。詳しくは募集要項をご覧ください。



(2) 教科書・教材

ここが
ポイント！

本学では、教科書・教材の一括配送などは行っておりません。
科目ごとにシラバスを見て自分で用意する必要があります。
教科書として指定されている書籍は、必ずご用意ください。

▼教科書（書籍）

- ・一般の書籍…書店、出版社のホームページ、Amazonなどで購入
- ・本学教科書…専用のテキスト販売サイトより購入 (<https://yashima-textthanbaipage.com/>)

▼教科書（配信資料）

書籍は使わず、先生が用意した資料を教科書として使用する場合があります。eLyの「教室」の「教材」欄からダウンロードできます。

(3) シラバス

シラバスとは、担当教員、科目区分、単位数、学修の要点、授業の進め方、課題レポートの内容、試験の実施方法、教科書、参考文献など、その科目に関する情報が書かれた資料です。学習にあたってはシラバスを必ずお読みください。



(4) テキスト履修

ここが
ポイント!

授業がない自学自習スタイルですが、eLyの質問機能を使って先生に質問できます。もちろん質問は無料、回数も無制限です。通学制の大学と比べて多くのレポートを書くので大変かもしれませんが、確実に力がつきます。

教科書による自学自習を主とし、1単位あたり1回1,600字程度(科目によって異なります)の課題レポートを提出し添削指導を受け、課題レポートおよび科目修得試験に合格すると単位が修得できます。1単位科目と2単位科目があります。

▼学習のポイント

課題レポートの書き方に関するルールを理解し、書き方のコツをつかむことが、単位修得への近道です。

▼学習のしおり

レポートの書き方に関するルールや作成のポイントを解説した資料です。eLyからダウンロードできますので、ご活用ください。

▼学生支援センター説明・交流会

毎月開催している、「学生支援センター主催の説明・交流会」では、テキスト履修のサポートに特に力を入れています。

▼学習の流れ

学習の流れ	半年コース	3ヶ月コース（参考）
履修登録 科目を選び登録する	春 3月初旬～5月上旬 秋 9月初旬～11月上旬	春 3月初旬～7月初旬 秋 9月初旬～1月初旬
↓		
学費納入 仮承認後に納入する 教科書・教材準備 シラバスを見て準備する	春 3月～5月 秋 10月～11月	春 3月～7月 秋 10月～1月
↓		
学習開始 質問機能を活用しながら課題レポートに取り組みます		
↓		
第1回課題レポート提出 eLyで提出→添削（再提出あり）	春 5月後半 秋 11月後半	春 7月～8月 秋 1月～2月
↓		
第2回課題レポート提出 eLyで提出→添削（再提出あり）	春 6月後半 秋 12月後半	春 7月～8月 秋 1月～2月
↓		
試験準備 課題レポートは試験までに合格必須です		
↓		
科目修得試験 レポートまたは試験（eLy上）	春 7月下旬～8月上旬 秋 1月下旬～2月上旬	春 8月下旬～9月上旬 秋 2月下旬～3月上旬
↓		
成績発表（単位修得） 優・良・可・不可の4段階	春 9月初旬 秋 3月初旬	春 9月下旬 秋 3月下旬

↓
次の期につづく

※学芸員資格の科目は、3ヶ月コースはありません。

(5) スクーリング履修

ここが
ポイント!

大学に通学せず「eLy」で受講できます。カメラやマイクは必要ありません。ライブ受講なら、チャット（文字）やディスカッション機能による「双方向」の授業が楽しめます。

※司書教諭資格の科目は、スクーリング履修はありません。

1回90分×15回（2単位）、もしくは1回90分×8回（1単位）の授業に8割以上出席し、最終試験に合格すると単位が修得できます。

▼学習のポイント

出席の扱いに関する細かいルールは科目により異なります。初回授業で確認しましょう。

▼時間割の種類

- ・平日スクーリング…平日週1回もしくは週2回、1～7限のいずれかで開講
- ・土日スクーリング…土日の1～4限に開講（2単位科目は4日間）
- ・土曜/日曜スクーリング…土曜もしくは日曜の1～4限に開講（2単位科目は4日間）
- ・夏期/冬期スクーリング…8月もしくは2月の連続3日間、1～5限に開講

▼「出席」の方法

- ・インターネット上でライブ受講する（リアルタイムに参加する）
- ・来校し教室で授業を受ける
- ・「再配信授業」を視聴し簡単なレポートを提出する（※当日23:59までに視聴を開始し、深夜1:45までにレポートを提出します。平日スクーリングの一部（司書科目を除く）のみが対象です。）

▼オンデマンドで復習

どの授業も授業翌日にオンデマンド（録画）が配信され、履修期間中は何度でも視聴できます（出席扱いにはなりません）。

▼学習の流れ

学習の流れ	時間割	スケジュール
履修登録 科目を選び登録する (定員あり・先着順)	平日週 1	春 3月初旬～4月初旬 / 秋 9月初旬～10月初旬
	平日週 2	春 3月初旬～5月上旬 / 秋 9月初旬～11月上旬
	週末	春 3月初旬～ / 秋 9月初旬～開講 2週間前
	集中	春 3月初旬～ / 秋 9月初旬～開講 2週間前
↓		
学費納入 仮承認後に納入する 教科書・教材準備 シラバスを見て準備	平日週 1	春 3月～4月 / 秋 9月～10月
	平日週 2	春 3月～5月 / 秋 9月～11月
	週末	春 3月～7月 / 秋 9月～7月
	集中	春 3月～8月 / 秋 9月～2月
↓		
学習開始 授業前日までにパソコンの受講設定を完了します		
↓		
スクーリング 90分×15回で2単位 8割以上の出席が必要	平日週 1	春 4月～7月 / 秋 10月～1月
	平日週 2	春 5月～7月 / 秋 11月～1月
	週末	春 4月～7月 / 秋 10月～1月 週末4日間
	集中	春 8月 / 秋 2月 連続した3日間
↓		
試験準備 授業の内容を復習し試験に備えます		
↓		
最終試験 レポートまたは試験 (eLy 上)	平日週 1	春 7月～8月 / 秋 1月～2月
	平日週 2	春 7月 / 秋 1月
	週末	科目による (レポートは最終日～2週間)
	集中	科目による (レポートは最終日～1週間)
↓		
成績発表(単位修得) 優・良・可・不可の 4段階	平日週 1	春 9月初旬 / 秋 3月初旬
	平日週 2	春 9月初旬 / 秋 3月初旬
	週末	春 6月または9月 / 秋 12月または3月
	集中	春 9月下旬 / 秋 3月下旬

↓
次の期につづく

5 サポート体制

(1) 先生への質問

ここが
ポイント！

テキスト履修、スクーリング履修とも、eLy 上で先生に質問できます。回数もちろん無制限。通信制だからこそ、一人で悩まずどんどん質問しましょう。

科目ごとに「教室」があり、履修している科目の「教室」には 24 時間いつでも入室できます。「教室」の中の「質問をする」から、メールのように担当教員に質問を送ると、回答が 1 週間以内に「質問 BOX」に届きます。



(2) 学生支援センター

ここが
ポイント！

eLy からのご質問には、原則 24 時間以内に回答しています。お電話でのお問合せも、平日夜や土日祝日も可能ですので、パソコン操作などお気軽にお問い合わせください。

▼eLy 学生支援センター情報ページ

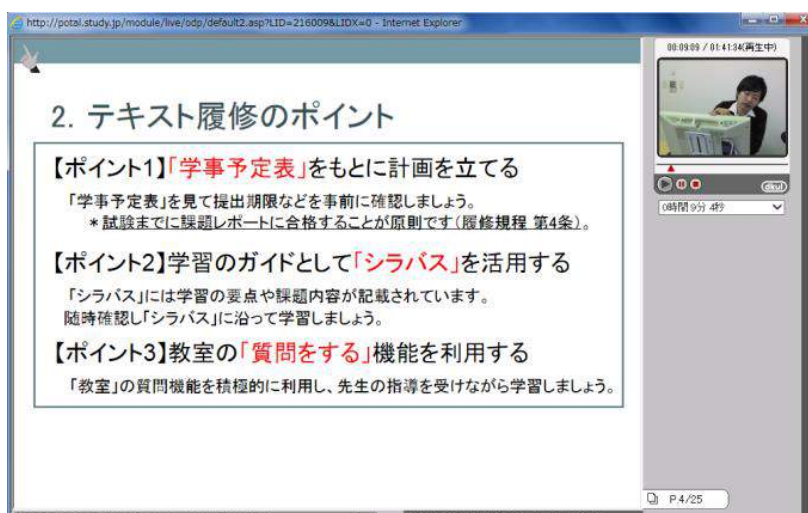
困ったときは eLy の「学生支援センター情報ページ」へ。時間割や課題の提出方法、証明書の申請方法など、役立つ情報をご案内しています。

▼お問合せ方法

- ・ eLy 学生支援センター情報ページの「質問・各種申請」
- ・ 電話 045-410-0515（直通）平日 9:00～21:30 土日祝 9:00～17:00
（授業のない期間など、短縮・臨時休業する場合があります。）
- ・ メール u-info@yashima.ac.jp
- ・ 来校 〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42 2階（横浜駅より徒歩 10分）

▼学生支援センター説明・交流会

毎月2回、オンラインの説明・交流会を開催しています。オンデマンド（録画）も配信しますが、ディスカッション機能を使った交流タイムは他の学生と情報交換できる貴重な機会となっており、大変好評です。日程は毎月メール等でお知らせいたします。



▼学生の声

学生支援センターの方の対応は、今まで通ってきたどの大学より迅速・丁寧な対応で非常に助かりました。

緊張と不安な思いがいっぱいの中、1年間頑張ることができたのも支援センターの方々のサポートがあったからこそと思っています。

交流会では、同じように学習をしている方たちと意見交換でき、悩んでいるのは自分ひとりではないのだということの発見があり、勇気づけられています。

質問機能など、個人への対応が行き届いていると思います。説明・交流会もチャットで学生同士の情報交換でき、とても有意義でした。

(3) キャリアコーディネート室

ここが
ポイント！

在学生・卒業生へ求人情報の紹介、就職イベント・セミナーの開催、就職に役立つ情報の提供などを行なっています。学習システム「eLy」上で参加できます。

▼卒業生の進路・就職

卒業後の進路は、就・転職、再就職、職場でのキャリアアップ、地域活動への参入など、さまざまです。2015年度は図書館や一般企業に28名※が採用されました。

※内定連絡をいただいた学生数（2016年3月31日現在）

▼お問合せ方法

- ・eLy キャリアコーディネート室の「質問をする」
- ・メール u-career@yashima.ac.jp

▼就・転職セミナー、ガイダンス、会社説明会

春期末（8～9月頃）と秋期末（2～3月頃）に、オンラインで開催しています（無料）。

▼求人情報の提供

本学に届いた求人情報は「掲示板」にて公開しており、自由に閲覧できます。

▼履歴書の添削指導

履歴書をスタッフが添削指導します（メール）。本学の履歴書様式もご用意しています。

▼若年者向けメールマガジン

春期末（8～9月頃）と秋期末（2～3月頃）、就職活動に向けたアドバイスなどをお送りします。

▼司書・学芸員の求人情報メールマガジン

月2回、希望する都道府県ごとにお届けしています。

▼キャリア・カウンセリング

横浜新卒応援ハローワークスタッフによるキャリア・カウンセリングを実施しています（要予約）。遠方にお住まいの方は Skype による相談も可能です。

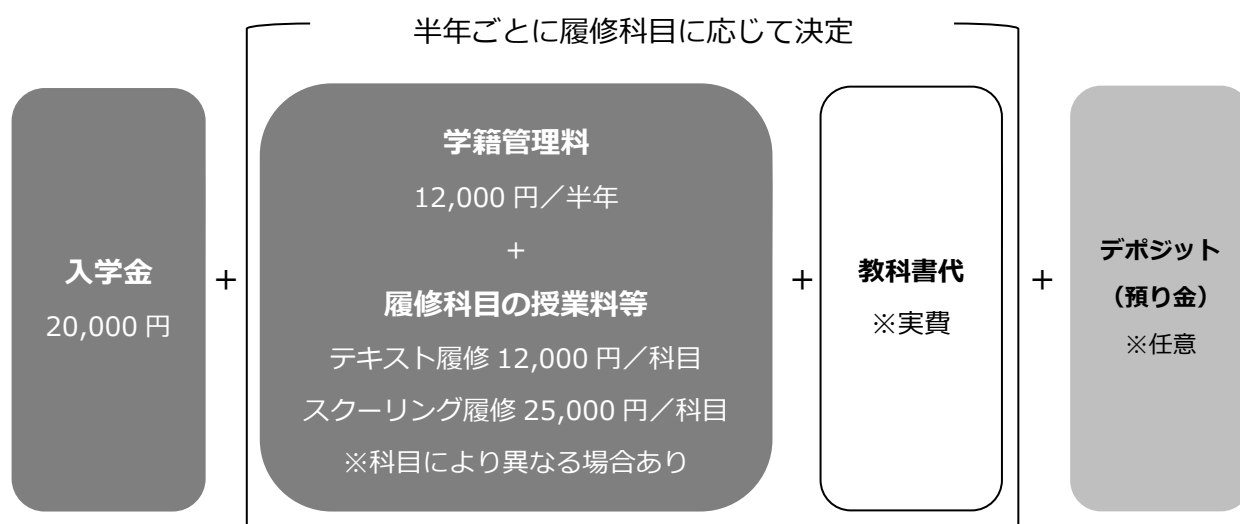
6 学費

(1) 学費のしくみ (単位従量制授業料)

ここが
ポイント！

履修する科目・単位数に応じて授業料が決まる単位従量制授業料です。春期と秋期の半年ごとに履修する科目を登録し、その科目分だけ学費を納入しますので、1科目から、自分のペースで学習できます。

▼学費の仕組み (単位従量制授業料)



- 本学に納入 (コンビニ振込もしくは銀行振込)
- 本学に預け入れ (コンビニ振込もしくは銀行振込)、残りは卒業 (退学) 時に返金
- 書店や出版社にて購入 (約 2,000円/科目)

※単位を修得できなかった科目は、次の期以降に再履修できますが、学費は改めて必要です。

(2) 納入方法

お近くのコンビニでお振込みください (振込手数料無料)。銀行振込もできますが、振込手数料がかかります。クレジットカード払いや来校での現金払いはできません。

(3) 資格取得までの学費例

▼1年間で資格を取得した場合の学費例

	項目	金額	備考
前半	入学金	20,000 円	
	学籍管理料	12,000 円	
	授業料等	109,000 円	テキスト 7 科目 14 単位+スクーリング 1 科目 2 単位
後半	学籍管理料	12,000 円	
	授業料等	37,500 円	博物館実習 スクーリング 3 単位扱い
合計		190,500 円	+教科書代 (実費)、デポジット

(4) 各種サービス

名称など	対象者	内容
シニア割引	50 歳以上の方	半年間（春期もしくは秋期）の定額制度。 ・シニアコース（50～59 歳の方）…半年間 109,000 円 ・プラチナコース（60 歳以上の方）…半年間 99,000 円 ※入学金、学籍管理料、教科書代は含まない。 ※単位修得までを保証するものではない。半年ごとに申込。
グループ校割引	八洲学園高等学校、八洲学園大学国際高等学校の卒業生	入学金 20,000 円の返金制度（デポジットに返金）。
夫婦割引	在学生の配偶者	
親子割引	在学生の親子	
学籍管理料優遇制度	卒業要件を満たした後も在籍する方	半年あたりの学籍管理料の半額（6,000 円）の返金制度（デポジットに返金）。
日本学生支援機構の奨学金	正科生でスクーリング履修をしている方	経済的に困難で大学が推薦する学生が、独立行政法人日本学生支援機構による審査に合格すると奨学金が貸与される。
オリコ学費サポートプラン	全学生（正科生、科目等履修生、特修生）	（株）オリエントコーポレーションが学納金を学生に代わって立て替え学生は毎月分割で返納するローンサービス。
教育訓練給付制度	科目等履修生で、原則 1 年間で司書/学芸員/司書教諭の資格科目の単位を全て本学で修得した方	入学金を含む学費の最大 20%が支給される給付制度。雇用保険に関する要件はハローワークに確認すること。3 年以内なら利用できるが 1 年目の履修科目のみが支給対象となる。 ※2017 年第 1・第 2 学期入学（4 月・7 月入学）の方は、利用できません。2017 年第 3 学期入学（10 月入学）の方より利用できるよう申請準備中です。

7 さらに学びたい方へ

(1) 資格取得だけで終わらないために

ここが
ポイント！

正科生（資格・リカレント編入学）や科目等履修生も、希望の資格科目だけではなく、好きな科目を1科目から履修できます。また、次ページ以降で紹介する他の国家資格を合わせて取得することも可能です。

+ マネジメント力

▽科目例

「思考のすすめ（アイデア・創造的活動の仕方）」
「CSR と経営戦略」など

+ コミュニケーション力

ビジネス・スキル「折れない心とポジティブ・シンキング」
ビジネス・スキル「コンフリクト・マネジメント 対立を超えて」など

+ 情報技術活用スキル

▽科目例

「情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン」
「PC 実践スキル～Word を使いこなす～」など

博物館学芸員 資格

+ 幅広い教養

▽科目例

「博物館学特論（日本近代の博物館）」
「バーチャル博物館」
「万葉と日本人のこころ」
「民話と県民性」など

+ 法律の知識

▽科目例

「著作権法」「行政法」
「知的資産マネジメント」など

+ 就・転職対策

▽科目例

「キャリアデザイン1・2」
「キャリア・ディベロップメント」
「仕事学のすすめ（問題解決と意思決定）」など

(2) 国家資格

▼図書館司書

図書館司書は、都道府県や市町村の公共図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員です。公共図書館や大学図書館の他、学校図書館の学校司書として勤める際にも有効です。

最短期間	合計費用	学歴要件	科目・単位数	スクーリング	通学
半年～	258,000 円～ ※	短大卒、大卒	15 科目 29 単位	4 科目 8 単位 ～6 科目 12 単位	不要

※ 入学金 + 半年間の学籍管理料 + 授業料等の合計

開設授業科目	単 位	履修 形態	履修開始時期	履修 方法	図書館法施行規則で 定める科目名
生涯学習論 1 (生涯における学習設計)	2	T	4 月・10 月	必修	生涯学習概論
図書館概論	2	T	4 月・10 月	必修	図書館概論
図書館制度・経営論	2	T	4 月・10 月	必修	図書館制度・経営論
図書館情報技術論	2	T	4 月・10 月	必修	図書館情報技術論
図書館サービス概論	2	T	4 月・10 月	必修	図書館サービス概論
情報サービス論	2	T	4 月・10 月	必修	情報サービス論
児童サービス論	2	T	4 月・10 月	選択 履修	児童サービス論
	2	S	4 月・10 月		
情報サービス演習 1	2	S	4 月・7 月・10 月・1 月	4 単位 必修	情報サービス演習
情報サービス演習 2	2	S	4 月・7 月・10 月・1 月		
図書館情報資源概論	2	T	4 月・10 月	必修	図書館情報資源概論
情報資源組織論	2	T	4 月・10 月	必修	情報資源組織論
情報資源組織演習 1	2	S	4 月・7 月・10 月・1 月	4 単位 必修	情報資源組織演習
情報資源組織演習 2	2	S	4 月・7 月・10 月・1 月		
情報化社会と情報の選択 (公共図書館・大学図書館編)	2	T	4 月・10 月	必修	図書館基礎特論
図書・図書館史	1	T	4 月・10 月	必修	図書・図書館史

T:テキスト履修/S:スクーリング履修

▼社会教育主事（任用）

社会教育主事資格は、任用資格といって、教育委員会で社会教育主事として任用されて初めて社会教育主事となるものです。都道府県及び市町村の教育委員会で事務局に置かれる専門的職員で、社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。職務内容は、社会教育行政の企画・実施、専門的技術的助言・指導、自主的な学習活動の側面的援助、地域の生涯学習を推進するコーディネート等、多岐にわたります。また、地域で社会教育関係の施設職員、指導員、生涯学習アドバイザー等として活躍するのに有利です。

最短期間	合計費用	学歴要件等	科目・単位数	スクーリング	通学
1年～	201,000円～※1	短大卒以上 +一定の職務経験※2	13科目 24単位	1科目 2単位～ 3科目 6単位	不要

※1 入学金+1年間の学籍管理料+授業料等の合計

※2 詳細は文部科学省ウェブサイトを参照

開設授業科目	単 位	履修 形態	履修開始 時期	履修 方法	社会教育主事講習等 規程で定める科目名
生涯学習論 1（生涯における学習設計）	2	T	4月・10月	計4単位 必修	生涯学習概論
生涯学習論 2（生涯学習の支援・推進）	2	T	4月・10月		
社会教育計画 1	2	T	4月・10月	計4単位 必修	社会教育計画
社会教育計画 2	2	T	4月・10月		
社会教育学新構想（演習）	2	S	10月	演習 2科目 4単位また は課題研究	社会教育演習
社会教育学研究法（演習）	2	S	4月		
生涯学習学新構想（演習）	2	S	10月	2科目 4単 位を履修	社会教育課題研究
社会教育課題研究 1	2	T	4月・10月		
社会教育課題研究 2	2	T	4月・10月	7科目 12 単位必修	社会教育特講 1 （現代社会と社会教育）
変化する社会と生涯学習の課題	2	T	4月		社会教育特講 2 （社会教育活動・事業・ 施設）
人口減少時代における生涯学習の可能性	2	T	10月		
社会教育施設と事業	2	T	4月		
生涯学習の方法	2	T	4月		社会教育特講 3（その他 必要な科目）
地域学習支援情報の収集・提供	1	T	7月		
学習成果の活用と地域学習支援情報の提供	1	T	1月		
読み聞かせと生涯学習	2	S	10月		

T:テキスト履修/S:スクーリング履修

▼学校図書館司書教諭

教員として学校図書館業務を担当する際に必要な国家資格です。教員免許状を取得済みの方もしくは取得見込みの方のみが対象です（その他の方も履修はできます）。司書資格取得者は、「学校図書館メディアの構成」の履修が免除されます。

最短期間	合計費用	学歴要件	科目・単位数	スクーリング	備考
半年～	92,000 円～※	短大卒以上	5 科目 10 単位	0 科目	要教員免許状

※ 入学金+半年間の学籍管理料+授業料等の合計

科目名	単 位	履修 形態	履修開始 時期	履修 方法	学校図書館司書教諭講習規程で 定める科目名
学校経営と学校図書館	2	T	4月・10月	必修	学校経営と学校図書館
学校図書館メディアの構成	2	T	4月・10月	必修	学校図書館メディアの構成
学習指導と学校図書館	2	T	4月・10月	必修	学習指導と学校図書館
読書と豊かな人間性	2	T	4月・10月	必修	読書と豊かな人間性
情報メディアの活用	2	T	4月・10月	必修	情報メディアの活用

T:テキスト履修

(4) その他の資格

ここが
ポイント！

単位修得のみで資格取得とはなりません、ビジネス系の資格取得に役立つ科目を多く開設しています。

以下、全て T:テキスト履修/S:スクーリング履修

▼公務員試験（教養科目・専門科目）対策に役立つ科目

科目名	単 位	科目区分	履修形態	履修開始時期
日本国憲法と現代社会	2	基礎	S	4月
法学概論	2	基礎	S	4月
民法1（総則・物権）	2	専門	S	7月
民法2（債権法）	2	専門	S	1月
家族と法	2	基礎	S	10月
行政法	2	専門	T	10月
労働法	2	専門	T	1月
商法	2	専門	T	7月

▼税理士試験の「受験資格」を取得できる科目

科目名	単位	科目区分	履修形態	履修開始時期
経済学入門	2	基礎	S	4月・10月
財政学入門	2	専門	S	4月・10月
法人税法入門	2	専門	T	4月・10月
所得税法入門	2	専門	T	4月・10月
消費税法	2	専門	T	7月
相続税法	2	専門	T	10月
法学概論	2	基礎	S	4月
民法1（総則・物権）	2	専門	S	7月
民法2（債権法）	2	専門	S	1月
労働法	2	専門	T	1月
商法	2	専門	T	7月

▼行政書士（国家資格）の試験対策に役立つ科目

科目名	単位	科目区分	履修形態	履修開始時期
日本国憲法と現代社会	2	基礎	S	4月
法学概論	2	基礎	S	4月
民法1（総則・物権）	2	専門	S	7月
民法2（債権法）	2	専門	S	1月
家族と法	2	基礎	S	10月
行政法	2	専門	T	10月
商法	2	専門	T	7月
情報と法	2	専門	S	10月

▼ビジネス・キャリア検定（中央職業能力開発協会）の試験対策に役立つ科目

科目名	単位	科目区分	履修形態	履修開始時期
社会保険労務（実務）	2	専門	T	4月
社会保険労務（入門）	2	専門	T	10月
キャリア・ディベロップメント	2	専門	T	10月
生産管理	2	専門	T	10月
実践マーケティング	2	専門	S	10月

▼簿記（日商簿記 2 級～3 級レベル）の学習に役立つ科目

科目名	単位	科目区分	履修形態	履修開始時期
はじめての簿記	1	専門	S	7月
簿記と経営	2	専門	T	4月・10月
原価計算入門	2	専門	T	4月・10月
経理実務入門	2	専門	T	10月

▼キャリア・ディベロップメント・アドバイザーの学習に役立つ科目

科目名	単位	科目区分	履修形態	履修開始時期
社会保険労務（実務）	2	専門	T	4月
キャリア・ディベロップメント	2	専門	T	10月

▼社会保険労務士試験対策に役立つ科目

科目名	単位	科目区分	履修形態	履修開始時期
社会保険労務（実務）	2	専門	T	4月
社会保険労務（入門）	2	専門	T	10月
労働法	2	専門	T	1月
生産管理	2	専門	T	10月

▼社会福祉主事（任用）

学歴要件	科目・単位数	スクーリング	通学	備考
短大卒以上	3科目 6単位以上	2科目 4単位～	不要	正科生として入学した大学で3科目以上を履修し卒業する必要がある

開設授業科目	単位	履修形態	履修開始時期	履修方法	厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目
医学一般	2	S	10月	3科目以上を選択履修	医学一般
倫理学	2	S	4月・10月		倫理学
「学び」と「教え」のこれまでとこれから	2	T	4月・10月		教育学
経済学入門	2	S	4月・10月		経済学
法学概論	2	S	4月		法学
民法1（総則・物権）※	2	S	4月（7月）		民法※
民法2（債権法）※	2	S	10月（1月）		
行政法	2	T	10月		行政法

※「民法1（総則・物権）」「民法2（債権法）」は2科目で1科目分です。

(4) 科目シリーズ

学校図書館司書教諭、図書館司書、博物館学芸員、社会教育主事（任用）以外の全科目をテーマ別科目シリーズにてご紹介いたします。毎年新しい科目も開設しています。

※2016年5月時点の情報ですので、変更する場合があります。科目により開講時期が異なります。

▼哲学や思想を学びたい

倫理学/人間論/禅学研究Ⅰ/禅学研究Ⅱ/人間と宗教/明日の一步・松下幸之助に学ぶ人生哲学/ものの見方・考え方/日本思想史概説/「学び」と「教え」のこれまでとこれから/文庫で読める教育の名著Ⅰ

▼社会や文化とのつながりを考えたい

日本の民俗と宗教伝統/生老病死と村社会/民話と県民性/笑い文化/武道文化概論/女子学概論/女子学からみる家族論/生きる力もとの探求/博物館学特論（日本近代の博物館）/バーチャル博物館の旅/異文化理解入門－現代世界を読み解く－/特別研究[日本文化史研究]/特別研究[社会教育・生涯学習研究]/特別研究[図書館学]

▼現代社会について考えたい

現代人と哲学/西洋思想と現代社会/社会生活と倫理Ⅰ（正義と正義感）/社会生活と倫理Ⅳ（生命医療倫理の基礎）/レジリエンス論（哲学・宗教）/逆境を生きる/生命の倫理/日本国憲法と現代社会

▼文学や古典を学びたい

敗者の人生と文学/人生の諸相と文学/俳句と俳文Ⅰ/俳句と俳文Ⅱ/漢字と心の形/万葉と日本人のこころ

▼環境について考えたい

資源環境と人間/水資源概論（食糧と水・エネルギー・環境）/省エネルギー概論/テクノロジーの発達とヒューマニティ

▼子育てや教育を考えたい

心豊かに語り合える親子コミュニケーション/医学一般/障害児の理解と支援/障害児の子育てとしつけ/不登校・ひきこもり特講/学校教育と家庭教育の原理/高校生の非行と問題行動/仏教教育論/教育者のためのカリキュラム論と実践方法/子どものスポーツ/昔話と道徳/学校における人権

▼文章力や思考力を鍛えたい

論述カスカル（アカデミック・ライティング）/情報リテラシー（情報活用から考え方・書き方まで）/論理的思考Ⅰ（数学的思考と発想）/マインドマップを使った放射思考演習/速読の理解と実践/プレゼンテーション概論/はじめての韓国語Ⅰ/はじめての韓国語Ⅱ/初年次セミナー

▼情報技術について学びたい

情報アクセシビリティとバリアフリーデザイン/楽しいホームページの制作/ ネットショップリテラシー（ネットショップの構築から運用まで）/楽しい Web アニメーション/PC 実践スキル～Word を使いこなす～/情報技術と社会～資格取得も視野に～

▼身近な法律を学びたい

法学概論/民法1（総則・物権）/民法2（債権法）/家族と法/福祉と法/消費生活と法/労働法/情報と法/行政法/犯罪と法/犯罪と心理

▼仕事に役立つ法律を学びたい

コンプライアンス概論/商法/著作権法/ビジネス文書作成・読解/知的資産マネジメント/デジタル・ネットワーク社会の知的財産権：著作権を含む/法人税法入門/所得税法入門/原価計算入門/消費税法/相続税法/パラリ－ガル（法律事務職員）の実務～入門編～

▼仕事力を上げたい1

社会人基礎力-仕事をする人から仕事ができる人へ-/キャリアデザイン1/キャリアデザイン2/キャリア・ディベロップメント/3年次セミナー/仕事学のすすめ（問題解決と意思決定）/仕事学のすすめ2（起業家と会社人間）/思考のすすめ（アイデアと創造）/思考のすすめ2（本質を見抜く思考の仕方）/ビジネス・スキル「状況判断と決定力」/ビジネス・スキル「折れない心とポジティブ・シンキング」/ビジネス・スキル「聴く力で人間関係を改善する」/ビジネス・スキル「コンフリクト・マネジメント 対立を超えて」/ビジネス・スキル「目標設定と継続力」/ビジネス・コミュニケーションスキル

▼仕事力を上げたい2

顧客サービス・マネジメント/実践マーケティング/企業分析のためのクリティカル・シンキング/財政学入門/経済学入門/地方財政入門/金融・投資・資産運用/はじめての簿記/経理実務入門/簿記と経営/社会保険労務（入門）/社会保険労務（実務）/生産管理/NPO法人の基礎/CSRと経営戦略/企業倫理/ビジネス・リーダーシップ論/心理カウンセラーの実務～初級編～/心理カウンセラーの実務～中級編～/心理カウンセラーの実務～上級編～

8 附属図書館

(1) 館内の利用案内

ここが
ポイント！

八洲学園大学附属図書館は、横浜キャンパスの2階にあります。学習スペースの利用や資料の閲覧はどなたでも可能です。約90席の学習用の机・椅子、ソファなどくつろげるスペースもあります。無線LANも完備しており、ノートパソコン持参での学習にも適しています。

▼開館時間・休館日

開館時間 平日 10:30～18:30／土日祝日・夏期など 10:30～17:00

休館日 年末年始、大学行事日（卒業式等）※事前連絡なしに休館する場合があります。

(2) 貸出サービス

▼貸出冊数・貸出期間

貸出冊数 10冊まで（卒業生は5冊まで）

貸出期間 1ヶ月間（31日間）

▼貸出の申込方法

eLy「図書館」→「本を探す」→キーワード検索→
「ブックマークに追加」→「本を探す」に戻る
→「貸出画面へ」→「申し込み」



(3) その他サービス

文献複写（来館・郵送）、紹介状発行などのサービスも承っています。詳しくは図書館ページをご覧ください。

9 諸手続き

(1) 証明書発行

各種証明書の発行が可能です。詳しくは、eLy 学生支援センター情報ページ「事務手続き」を参照し、「質問・各種申請」からお申し込みください。

分類	証明書の種類	説明	発行手数料	郵送手数料
学籍	在学証明書*	現在在学していることを証明する	1通 200円	5通まで 100円 (速達 400円)
	在籍証明書*	過去に在籍していたことを証明する	1通 200円	5通まで 100円 (速達 400円)
	在学期間証明書*	在学している(していた)期間を証明する(休学期間記載あり)	1通 200円	5通まで 100円 (速達 400円)
単位 修得	単位修得・成績 証明書*	単位修得した全科目を証明する	1通 200円	5通まで 100円 (速達 400円)
資格	資格科目単位 修得・成績証明 書	下記いずれかの資格科目の単位修得を証明する 〔対象〕司書、学芸員、社会教育主事、社会福祉 主事、司書教諭	1通 200円	5通まで 100円 (速達 400円)
	資格証明書(賞 状型)	下記いずれかの資格を証明する(1人1通) 〔対象〕司書、学芸員 ※本学で全資格科目の単位を修得した方	1,100円	—
卒業	卒業見込証明 書*	3年以上(編入学は1年以上)在籍し100単位 以上修得した正科生に対し、卒業見込であること を証明する	1通 200円	5通まで 100円 (速達 400円)
	卒業証明書*	本学を卒業し学士の学位を取得たことを証明す る	1通 200円	5通まで 100円 (速達 400円)
その 他	通学証明書	定期券発行のために通学区間を証明する(スクー リング科目を履修中の正科生に限る)	—	3通まで 100円 (速達 400円)
	学割証明書	JR等の学割発行のため(スクーリング科目を履 修中の正科生に限る)	—	100円(速達 400円)

*は英文証明書も発行可能です。

(2) 学籍に関する手続き

手続きに必要な書式などは、eLy 学生支援センター情報ページ「事務手続き」に掲載されています。下記以外にも、何かございましたら学生支援センターにお気軽にご相談ください。

手続きの種類	説明
休学願	休学したい時に提出する 〔休学可能期間〕正科生 4 年間／科目等履修生 1 年間（延長可）
復学願	休学後に学習を再開する時に提出する
修業期間延長願	科目等履修生が修業期間を延長したい時に提出する
終了願	科目等履修生が入学目的を達成し学習を終える時に提出する
リカレント修了願	正科生（資格・リカレント編入学）が入学目的を達成し学習を終える時に提出する
退学願	学習を中断し退学したい時に提出する
卒業申請	正科生が卒業する予定の学期に提出する（所定の申請期間あり）
期間満了（除籍）	修業年限満了を迎えた場合除籍扱いとなる

(3) 身上に関する手続き

ご登録いただいている情報に変更が生じた場合はすみやかに届け出てください。

手続きの種類	手続きの方法
氏名変更	「氏名等変更届」と戸籍抄本を提出（原本を郵送）
住所変更	eLy「学籍情報変更申請」から申請
電話番号変更	eLy「学籍情報変更申請」から申請
メールアドレス変更	eLy「学籍情報変更申請」から申請
ニックネーム変更	eLy に表示されるニックネームをクリックしプロフィール変更

参考資料

スクーリング受講のためのパソコン設定方法

スクーリングの受講には簡単なパソコン設定が必要です。基本的な受講設定は下記の通りですが、詳しくは eLy の参照場所にある動画マニュアルなどをご覧ください。

▼eLy の参照場所（動画マニュアルの掲載場所）



▼基本的な受講設定

(1) 信頼済みサイトの登録

- ①Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」
- ②「セキュリティ」→信頼済みサイトマークを選択肢「サイト(S)」
- ③「信頼済みサイト」画面の下部「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする(S)」のチェックを外す
- ④「この Web サイトをゾーンに追加する(D)」に「*.study.jp/」（半角）を入力し「追加(A)」
- ⑤「Web サイト(W)」に「*.study.jp/」が入ったことを確認し「閉じる」
- ⑥「セキュリティ」画面最下部「保護モードを有効にする」のチェックを外し「適用」

(2) Adobe SVG Viewer のインストール

- ①上記、eLy の参照場所などから Adobe のサイトを開く
- ②「SVGView.exe」をクリックして保存し、Internet Explorer を一旦すべて閉じる
- ③保存した「SVGView.exe」をダブルクリックしてインストール

(3) 互換表示設定

- ①Internet Explorer の「ツール」→「互換表示設定」
- ②「追加する Web サイト(D)」に「study.jp」を入力し、「追加(A)」をクリック
- ③「互換表示に追加した Web サイト(W)」に「study.jp」が入ったことを確認し「閉じる」

2017年度春期学事予定表

	2017年度第1学期				2017年度第2学期			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
共通の予定	3/6 履修登録開始	4~5月頃 第1学期卒業申請受付	5月 履修登録締切	6~7月頃 第2学期卒業申請受付	7/14 第2回課題 最終返却	8月 履修登録締切	9/4 9月下旬 履修登録 学位証 開始(秋) 授与式	
テキスト履修 半年コース		5/5 履修登録 締切	5/15~31 第1回課題 提出	6/14 第1回課題 最終返却	6/15~30 第2回課題 提出	7/10~8/11 第1~2回課題提出 最終返却	9/1 成績 発表	
テキスト履修 3ヶ月コース						8/20 課題 最終返却	9/20 成績 発表	
平日スクーリング 週1回×15週間		4/7 履修登録 締切	4/10~7/28 (月)~(金)1~7限のいずれか 2単位科目は至15回/1単位科目は至8回		最終試験 レポート:7/24発表~8/11締切 試験:7/31,8/1,2,3,4	科目修得試験 レポート:8/24発表~9/8締切		
平日(週2) スクーリング 週2回×8週		5/5 履修登録 締切	5/8~6/30 (月)~(金)1~7限のいずれか 2単位科目は至15回/1単位科目は至8回		最終試験 レポート:6/26,27,28,29,30		9/1 成績 発表	
平日スクーリング 3ヶ月コース 週1回×8週		4/7 履修登録 締切	4/10~6/9 (月)~(金)1~7限のいずれか 1単位科目 全8回	最終試験 レポート:6/5,6,7,8,9 試験:6/29 成績 発表	6/30 履修登録 締切	最終試験 レポート:最終日~2週間 試験:8/28,29,30,31,9/1	9/20 成績 発表	
土日スクーリング 各日1~4限×4日間	各開講初日の 2週間前 履修登録締切	土日1期 4/8,9, 15,16	土日2期 4/22,23, 29,30	土日3期 5/6,7, 13,14	土日4期 5/20,21, 27,28	最終試験 レポート:最終日~2週間 試験:4/16,30,5/14,28		
土日スクーリング 各日1~4限×4日間	各開講初日の 2週間前 履修登録締切	土曜1期 4/8,15, 22,29	日曜1期 4/9,16, 23,30	土曜2期 5/6,13, 20,27	日曜2期 5/7,14, 21,28	履修登録は 各開講初日の 2週間前に締切	最終試験 レポート:最終日~2週間 試験:6/11,25,7/9,23	9/1 成績 発表
土曜/日曜 スクーリング 各日1~4限×4日間	各開講初日の 2週間前 履修登録締切	土曜1期 4/8,15, 22,29	日曜1期 4/9,16, 23,30	土曜2期 5/6,13, 20,27	日曜2期 5/7,14, 21,28	最終試験 レポート:最終日~2週間 試験:4/29,30,5/27,28	最終試験 レポート:最終日~2週間 試験:6/24,25,7/22,23	9/1 成績 発表
夏期スクーリング 各日1~6限×3日間						各開講初日の 2週間前 履修登録締切	夏期1期 8/14, 15,16	9/20 成績 発表
							夏期2期 8/18, 19,20	
							夏期3期 8/22, 23,24	
							夏期4期 8/26, 27,28	
							最終試験 レポート:最終日~1週間 / 試験:8/16,20,24,28	

※日程の変更・詳細は随時ご案内します。eLVI大学からのお知らせ」などをご確認ください。

2017 年度秋期学事予定表

		2017年度第3学期				2017年度第4学期					
		9月	10月	11月	12月	1月	2月				
第2学期	9/4	履修登録開始	10/9~11月4日 第3学期卒業申請受付	11/3 履修登録 締切	11/15~30 第1回課題 提出	12/14 第1回課題 最終返却	12/15~1/5 第2回課題 提出	1/19 第2回課題 最終返却	2月	3/5	3月下旬 学位記 開始(香)
共通の予定											授与式
テキスト履修 半年コース											3/2 成績 発表
テキスト履修 3ヶ月コース											3/22 成績 発表
平日スクーリング 週1回×15週(6週)											3/2 成績 発表
平日(週2) スクーリング 週2回×6週											3/2 成績 発表
平日スクーリング 3ヶ月コース 週1回×6週											3/22 成績 発表
土日スクーリング 各日1~4回×4日間											3/2 成績 発表
土曜/日曜 スクーリング 各日1~5回×3日間											3/21 成績 発表

※日程の変更・詳細は随時ご案内します。eLiyf大学からのお知らせをご確認ください。

お問い合わせはお気軽にどうぞ

八洲学園大学 学生支援センター

メール:u-info@yashima.ac.jp

電話:045-410-0515 (平日 9:00~21:30 / 土日祝 9:00~17:00)

〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42 <http://www.yashima.ac.jp/univ/>

※時期により受付時間を変更する場合があります。